

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・保育所等訪問支援事業所 ソレイユ			
○保護者評価実施期間	2026年9月1日 ～ 2026年9月25日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数)	20
○従業者評価実施期間	2026年9月1日 ～ 2026年9月25日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	2026年9月28日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様が安心感を持って楽しく通うことが出来ている点です。	保育所等訪問支援を併用することによって、大きな集団（在籍園）での様子を見ながら日々の療育プログラムの検討を行っています。	日頃の療育活動を見て頂く為にも、保護者参観日を設けたいと思います。
2	情報共有を密にとり、ご家庭との関係が良好であると思われれます。	幼稚園等の長期休暇中の1日預かりの際には公共の体育館等を借り、身体を十分に動かせるようにしています。	地域との交流を図れる機会を設けたいと思います。
3	お子様が在籍する園との情報共有を常に行っているため、お子様の日々の状況について理解がしやすく、ニーズに沿った支援を行うことができます。	限られた空間の中でも工夫をし、スイングを用いた感覚統合療法を行えるよう環境を整えています。	保護者様のニーズの1つでもある親としてどのように対応したら良いかという疑問にこたえられるよう、ペアレントトレーニングの実施等を行っていききたいと思います。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	情報発信の不足がある為、今後は様々な方法を用いて情報を発信していかれるよう善処して参りたいと思います。	支援プログラムの準備に時間をかけているため、情報発信や保護者との勉強会などの時間がなかなか取れていませんでした。	情報の発信を定期的に行うよう努めて参ります。
2	在籍園との連携は密であるものの、地域との交流等、地域に開かれた事業運営が行えていない点に関し、改善をして参りたいと思います。	お子様を取り巻く環境や体制整備を、保護者様に実際に見たり体験して頂くような機会を設けたいと思います。	事業所の環境や体制に関し、実際に目で見えて頂くなどの工夫を行い、保護者様の安心につなげていかれるよう努めて参ります。
3	地域の皆様に対する情報発信ができていないなど、専門士が多い特徴を活かしきれていないと感じております。	非常時の対応に関し、保護者様と共有することが出来ていなかったと思います。	非常時の対応に関しまして、訓練の実施の際に保護者様や地域の皆様との連携を強化させて頂いて参りたいと思います。